瑞穂区　汐路学区	住民交流	**健康・福祉**	青少年育成	環境・美化
	防犯・交通安全	防　災	歴史・文化・芸術	その他

65 歳以上の「独居の方に食事を提供」して 33 年！

【汐路学区】

■世帯数：6,637 世帯
■人　口：13,362 人
■面　積：1.353ｋ㎡
平成 24 年 4 月 1 日現在

1　活動・取り組みの内容

- 学区内の 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、年間 21～22 回、汐路コミュニティーセンターにて食事会を開催。1 回当りの参加者数は約 80 人。（年間延べ約 1,700 人）
- 食事は旬の野菜をふんだんに使って全て手作りし、６品以上のカロリー計算された献立に真心と愛情を加味する。
- 管理栄養士（ボランティアスタッフ）による老人向けの献立づくりと定期的な料理講習会を開催している。

【住民への PR 方法】

民生委員や運営スタッフ、参加者の口コミで参加を募集

【アピールポイント】

平成 24 年７月までの 33 年間で 477 回の開催となるが、衛生面でのトラブルは皆無であり、発足当時から「主婦による手作り食事会」をコンセプトに会員のみなさんのふれあいの場として機能し、地域の“絆”が確立されている。

毎回行うアトラクション、健康体操、血圧測定、公所による講話などは、楽しくて役に立つ内容となるよう主催者が配慮している。手作りの食事にこだわって月２回食事会を開催しているのは名古屋市内唯一だと思う。

2　きっかけ、背景

昭和 55 年に婦人会の会員から「近所の住むひとり暮らしをしている高齢者に食事を持って行くが、学区にはそうした方がたくさん居るはずであり、定期的に

集まってもらって食事を提供してはどうか」との提案があり、関係公所の賛同を得て婦人会・民生委員・区政協力委員会が「汐路給食ボランティア友の会」を結成した。「手作り料理を提供すること」をモットーに、厨房の整う「青年の家」で昭和 56 年６月に第１回を開催。参加者は６人だった。あくまでも「手作り料理を提供する」をモットーに、その後月１回継続して開催した。昭和 57 年より参加者が増加したこととスタッフが整ったことで、「東栄八幡社 社務所」に会場を移し、平成 12 年３月まで 20 年間開催した。なお、平成４年からは月２回の開催とし、平成 12 年４月よりコミュニティセンターにて開催している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

民生委員児童委員、給食ボランティアの会

１回あたり約 15 人ほどで、２班に分けて編成している。

（第一火曜と第三木曜開催）

(2) 運営協力

運営メンバーの任期が会則にあり、現在もスムーズに行われている。

他に区政協力委員、女性会、老人会がアトラクション等に協力。

4 実施のスケジュール

毎年１・２月	スタッフの料理研修会・食品会社見学会・スタッフ慰労会　参加者からの意見・要望について月１回の幹部会を開催
３・４月	65 歳以上独居世帯調査（民生委員）公所（署）の参加調整・年間の余興企画
５・６月	季節料理を楽しむ・公所による講話　保健所による食品の衛生指導・厨房監査
７・８月	スタッフ料理研修会・七夕祭り・専門医の健康講座を開催
９・10 月	季節料理を楽しむ 食品メーカーによる献立料理講習会
11・12 月	クリスマス食事会・役員扮するサンタによるプレゼントを全員に配付

5 成果と課題

(1) 成果・効果

参加者間の情報交換・仲間づくりが進み、社会参加を促進している。

(2) 苦労した点

発足当時は、町内会長、老人会の認識不足による偏見があった。

(3) 今後の課題・展望

運営スタッフが高齢化し、力仕事が苦痛となっており、作業の軽減を図る必要があるとともに、担い手の世代交代が課題。

(4) メッセージ・アドバイス

天候の悪いときでも、ひとり暮らしの高齢者が食事会に来て頂いたことに感謝する気持ちがスタッフにないと継続できない。参加者の笑顔がスタッフの活力となっている。